

NEWS RELEASE

【報道関係各位】



2020年8月7日
一般財団法人 日本気象協会

「地域特性を考慮したドローン気象情報提供機能に関する研究開発」を実施 ～NEDO「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」に採択される～

一般財団法人 日本気象協会（本社：東京都豊島区、理事長：長田 太、以下「日本気象協会」）は、国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募した「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」に「地域特性を考慮したドローン気象情報提供機能に関する研究開発」（以下「本研究」）を応募し、採択されました。

◆研究概要

本研究では、NEDO「ロボット・ドローンが活躍する省エネルギー社会の実現プロジェクト」で2017～2019年度に日本気象協会が実施した「ドローン向け気象情報提供機能の研究開発」の成果を基に、全国展開に向けたドローン向け気象情報の研究開発を行います。

平坦地、山間地、離島など、地形により気象の特性は大きく異なります。安全で効率的なドローン運航を実現するためには、これらの地域特性を考慮したドローン専用の気象情報が重要です。本研究は、2019年度までのNEDO事業で研究開発した情報提供機能を改良・拡張し、全国展開に向けて、その実用性を検証します。

◆研究期間

2020年8月～2022年2月（予定）

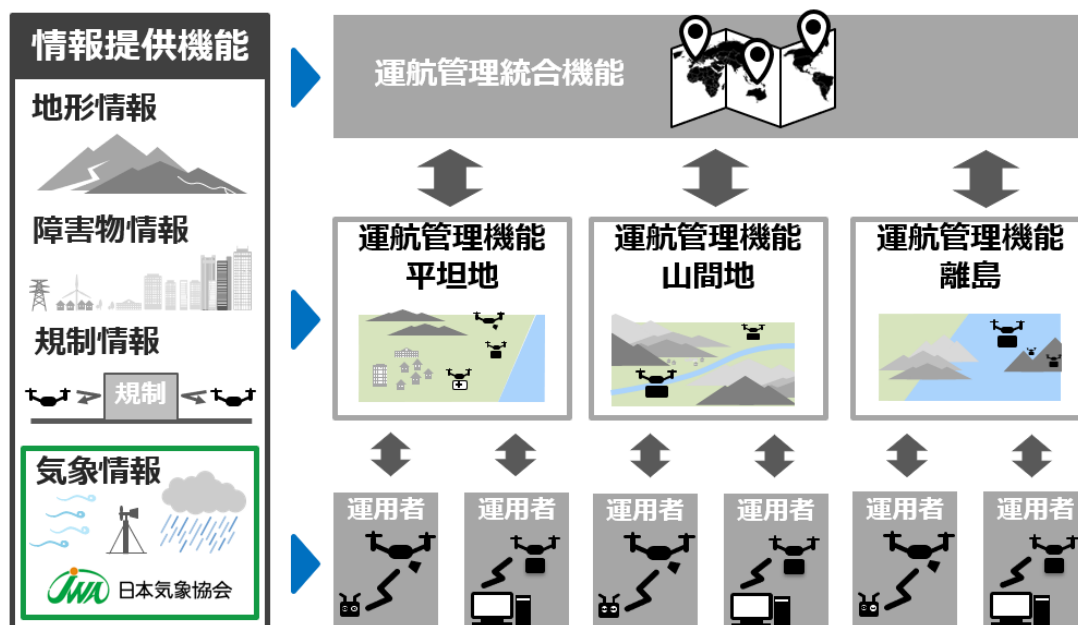


図 地域特性を考慮した情報提供機能の連携イメージ

事業採択に関する詳細：

https://www.nedo.go.jp/news/press/AA5_101343.html

以上